

## 令和5年度第1学期始業式 式辞【在校生に贈る言葉】

暖かな春の日差しに、山々はすっかり春色に染め上がりました。本日、新2、3年生として64名が進級し、令和5年度第一学期の始業式を迎えることができました。皆さん、進級おめでとうございます。いよいよ本日から、吉田中学校の令和5年度が始まります。



先週金曜日の準備登校では、2・3年生の皆さんが校舎内外の清掃や環境整備、そして入学式の会場づくりに友達や先生方と協力しながら熱心に取り組んでくれました。本日、入学式を迎えるにあたり、きっと新入生のために心を込めて準備をしてくれたことと思います。ありがとうございました。

皆さんにも覚えがあると思いますが、中学校への入学は新入生にとって、中学校生活について期待と不安が入り混じった気持ちでいることと思います。

ぜひ、新1年生たちが気持ちよくそして安心して本校の学校生活のスタートを切れるよう、頼れる先輩として、優しさと思いやりをもって接してほしいと思います。

さて、新年度を迎え、皆さんも心新たに希望や期待をもってこの場に臨んでいることと思います。昨年一年間で皆さんは個人としてもまた、集団としても大きく成長しました。そのような皆さんに今年度、さらなる成長を期待しています。

そこで、今年度1年間、皆さんがさらなる成長をとげるために取り組んでほしいことを2つお話します。

まず、その場その場で自分ができることは何かを考えて、行動してほしいということです。友達がやってくれるからとか、先生や親に任せっぱなしにして自分は何もしないのでは、何かを学ぶことはできません。皆さんには、将来、他者のために自分ならば何ができるかを考え、行動できる人になってほしいのです。つまり、この中学時代に将来社会に貢献できる人としての基礎を身に付けてほしいということです。どんな人にも、誰かのためにできることはあるはずです。ぜひ、小さなことからでもよいので、人のために行動してみてください。

2つ目は、吉田中学校の誇りを皆で確立してほしいということです。これは全生徒である集団としてのミッションです。「吉田中の誇りとは何か？」この問いの答えは、生徒一人ひとりがそれぞれの答えを持っていると思います。しかし、今年度は、全員が「これが吉田中の誇りだ！」と口をそろえて言えるものを確立しようということです。吉田中の歴史は毎日毎日の積み重ねで、今まさに皆さんが作り上げています。ですから、吉田中の誇りも皆さんが作り上げるべきものです。ぜひ、このミッションを生徒会の皆さんを中心に取り組み、達成を目指す1年にしてほしいと思います。

皆さんが、今年1年、仲間と励まし合いながら、夢や希望の実現に向けて、一人一人のよさを伸ばし大きく花を咲かせることができるよう、先生方は皆さんのご家族や地域の方と力を合わせ、全力で応援していきます。

新しい年度の門出に、皆さん一人一人の活躍と成長を大いに期待し、始業式の式辞とします。

吉田中学校長 矢口岳人